

事業報告書

1 支援団体名	防災・減災フォーラム in 朝倉
2 事業名称	防災・減災フォーラム in 朝倉 ～異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水機能調節と情報の充実にむけて～
3 実施日時	令和元年6月9日(日)
4 実施場所	朝倉地域生涯学習センター
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 1. 基調講演：九州大学 名誉教授 小松 利光 テーマ「近年の豪雨災害からの教訓と対策」 2. 話題提供：京都大学 教授 角 哲也 テーマ「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実」 3. 現場報告：寺内ダム管理所長 石橋 一恭 テーマ「寺内ダムの管理状況」 4. 市民へのメッセージ：朝倉市副市長 中野 信哉 5. パネルディスカッション：コーディネータ 九州大学教授 塚原健一 テーマ「ダムの洪水調節と避難情報発信のあり方」
	(事業実施効果) 1. 洪水期前にダムの管理を正しく理解し、適切なタイミングで避難活動につなげていく。 2. 寺内ダムの機能限界を知ってもらい、適切な避難につなげていく。 ・ダムの「異常洪水時防災操作（ただし書き操作）」の理解 ・どのような情報が、どのタイミングで、どのように市民へ発信されているか
6 参加内訳	総人数 400名
	(1) 主催者参加 50名
	(2) 日本人参加（(1)を除く） 350名
	(3) 外国人参加（(1)を除く） 名
7 今後の方針	1. ダムからの操作情報などを、地域住民が更に理解出来るよう説明会等を通じて避難行動に繋げていく。 2. 地域住民及び関係機関と連携し、住民が分かりやすい情報提供のあり方について検討を進めていく。

主催者挨拶 林 朝倉市長



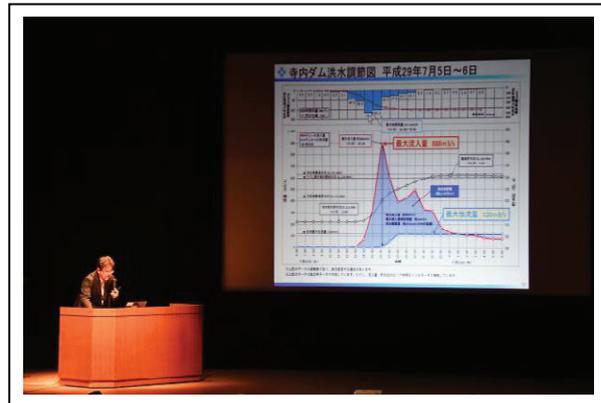
基調講演 小松 九州大学名誉教授



話題提供 角 京都大学教授



現場報告 石橋 寺内ダム管理所長



市民へのメッセージ 中野 副市長



パネルディスカッション

